

別紙

株式会社DNPアドバンストオプティクス温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社DNPアドバンストオプティクス 三原第1工場

(2) 事業所の所在地

〒729-0473

広島県三原市沼田西町小原73-47

(3) 業種

印刷業

2 計画の期間

本計画の期間は2011年度を基準年度とし、2012年度から2014年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成年度	平成年度	平成年度	平成年度	平成年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： CO₂排出量/通しm数 (t-CO₂/千m)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
エネルギー起源CO ₂	0.3972	0.3853 3.0%	0.3736	0.3873			
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量							
エネルギー消費原単位(原油換算k1)	0.2975	0.2886 3.0%	0.2869	0.3339			
実績に対する自己評価	2013年度は2012年度と比較しエネルギー消費原単位が悪化。原単位の大きな生産品目割合の増加と全体的な生産数量減少により、原油換算使用量増加・投入m数が減少。結果として基準年度からの削減目標を下回る結果となった。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	エネルギーの合理的な使用及び自主管理を確立する	年平均 235t-CO2/年 の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電灯の間引き ・ チラー温度設定変更 ・ 散水装置導入による夏季の空冷チラー装置使用効率向上 ・ インキ倉庫一般空調温度設定変更
2	設備保全管理の実施によりエネルギーロス削減及び生産阻害防止を図る	上記に含む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産調整時の循環空調の停止 ・ 定期保全計画の作成および実行
3	エネルギー使用実態の傾向管理		<ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギー原単位グラフ、電力・ガスMAPの作成
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量原単位(廃棄物排出量/生産高)の削減	2011年度比3.0%削減の達成(0.0141→0.0136)	<ul style="list-style-type: none"> ・ シュレッダーシュレッダーゴミの削減(不要印刷の禁止) ・ 廃インキ削減
2	不要物発生率(不要物発生量/材料総投入量)の改善	年3%改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃方法見直しによるウエス使用量の削減
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 沼田西町工業団地清掃 ・ エヒメアヤメ自生地下草刈り

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。